

## 地域活性化人材育成事業 SPARC キックオフシンポジウムのアンケート結果について

日 程：2023年9月23日（土）13：30～16：30

場 所：宮崎大学創立 330 記念交流会館コンベンションホール

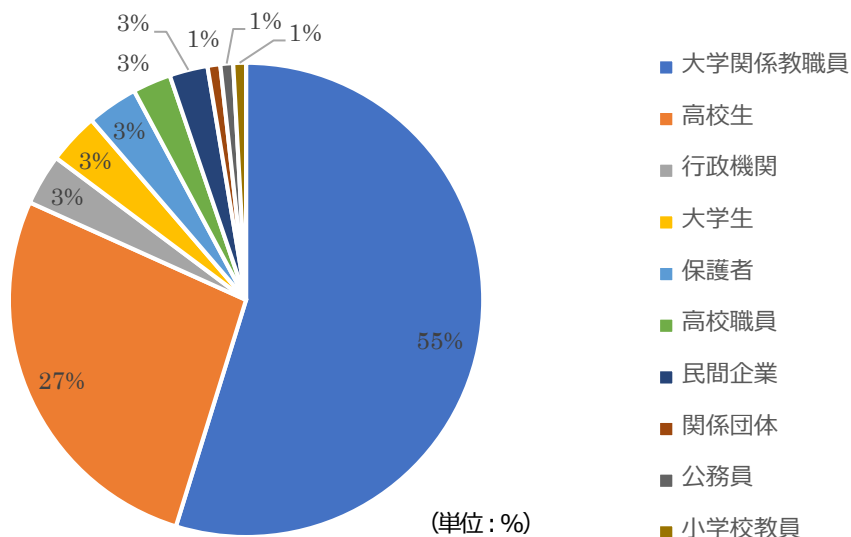
参加者：203名（対面参加 135名、ライブ配信 68名）

アンケート回答者：115名（内、高校生・大学生 34名）

アンケート回答率：56.7%（内、高校生・大学生 75.6%）

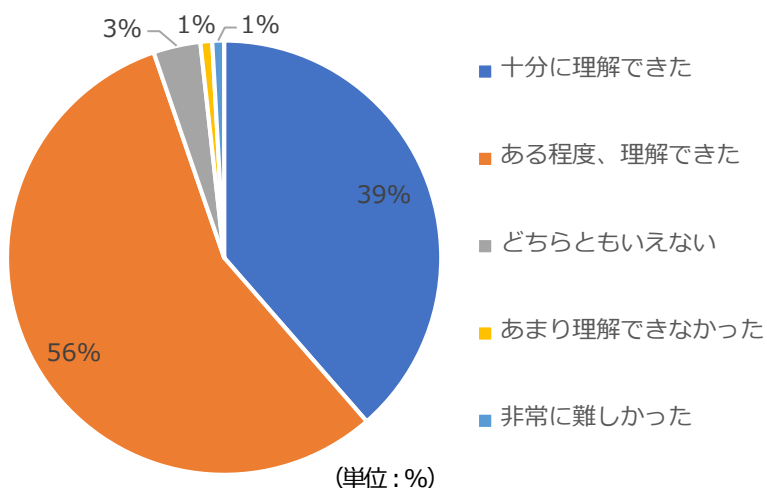
## 1. 所属等についてお聞かせください。

所属	人数
大学関係教職員	63
高校生	31
行政機関	4
大学生	4
保護者	4
高校職員	3
民間企業	3
関係団体	1
公務員	1
小学校教員	1
総計	115



## 2. キックオフシンポジウムで SPARC についての理解度についてお答えください。

理解度	人数
十分に理解できた	45
ある程度、理解できた	64
どちらかともいえない	4
あまり理解できなかった	1
非常に難しかった	1
総計	115



3. 今回のシンポジウムに対するご意見等があればご自由にお書きください。 ～ 一部抜粋 ～

○学生の学びが豊かになり、これからの社会を支える人材がより多く、またより質高く輩出されることが期待されるプログラムと改めて理解いたしました。これに従事する大学教職員がまずは率先して変わる必要があることも改めて感じました。

○授業が大変面白く、時間が過ぎるのがとても早く感じました。

たいへん貴重なご報告をいただき、ありがとうございました。全国の先進的な事例になるように思えました。一方、各大学の本音や苦労話をもっと聞けると良かったです（なかなか言えないこともあり難しいとは思いますが）。素晴らしい事業だと思います。地域の産学金官が一体となって高い意識とスキルを備えた人材育成ができるよう、特に宮崎大学のイニシアチブをお願いいたします。

○進行の方が上手く進めていらしていたのと、ピアノの伴奏が落ち着く音色でありながら、楽しかったので良いと思いました。体験講義も面白かったです。

○質問をさせてください。聞き漏らしの可能性が大なのですが、R6年度は貴大学教育学部・地域資源創成学部のみ先行スタート。全学生のうち、何人がそのシステムを利用できるのですか。

これからの社会に必要なお話が聞けるのではないかと参加させて頂きました。言葉が難しいいうに理解力が乏しい為ふんわりとしか分かっておりませんが、様々なお話、ご意見等を聞く事はとても刺激的で良かったです。

【回答】令和6年度からは、地域資源創成学部（180名）と教育学部の教職実践基礎コース（15名）が開始となりますが、全学生に受講可能な科目が教養教育にございます。

○地域キャリアデザインの体験授業を見て、このような授業を他大学の学生も含めて広く受講できることは、有意義であると感じた。さらに未来共創科目群の充実と併せて、課題発見科目が充実されると良いのではないかと感じた。

○各大学の思いや展望を共有する良い機会になったのではないのでしょうか。私自身も理解が深まりました。高校生も社会人も先生方も生き生きと模擬授業に参加しておられたと思います。

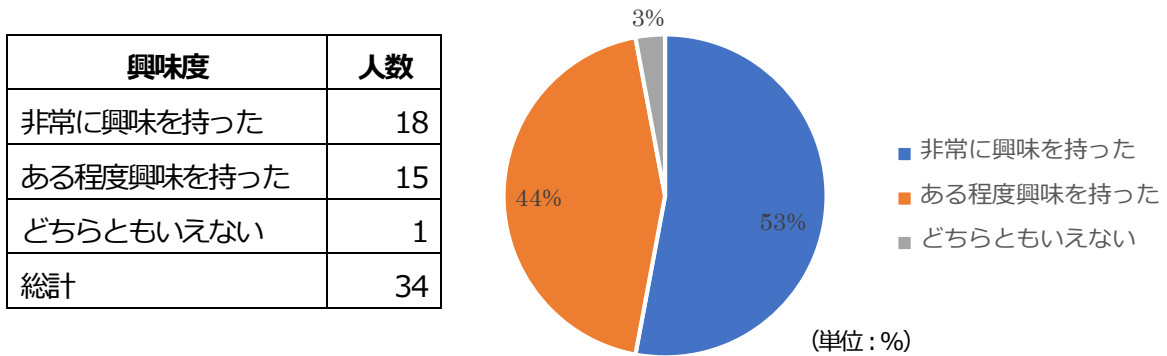
専門性を高めた上で、他の専門分野と繋がって新しい価値観を作っていくことは、今後さらに必要とされる素養となります。大学生のうちその1歩を経験しておくことは、非常に有効と感じました。

○地域キャリアデザインの体験授業がよかった

SPARC事業の紹介が長くて難しかったので、高校生を呼ぶなら省略するかもっと短時間でまとめるとよかったのではないかと思います。授業体験は、その場でヒアリングも体験できて良い内容だったと思います。大学間でどの科目を相互乗り入れするのか具体的な言及があると良い。SPARC事業の概要や各大学の特色等もよくわかって良かった。

○趣旨は理解できたが、学生はどのように履修するのか、一部の学生のみ対象なのか（「SPARC履修生」などという言葉もあったので、全員が履修可能な学生ではなさそうだと理解した）、また大学教員は誰が何をやるのかなど、把握できないことが多かった。まだ準備段階なのだと思うが、早いところは来年から試行的に実施するようであるので、早急に参加大学のすべての教職員が共通理解を図らなければならぬのではないかと、改めて強く感じた。加えて言えば、県内の高校にはどの程度伝わっているのかも不安である。

5. 今回のシンポジウムに参加して SPARC 事業に興味を持ちましたか？（高校生、大学生のみ）



6. SPARC 事業についての感想をお願いします。（高校生、大学生のみ） ～ 一部抜粋 ～

○今回は自分の意見がしっかり発表出来ませんでした。この反省をこれからの高校生活を通して克服できるようにしたいです。

○この事業によって多様な人と関わることができ、自分の考え方を広げることのできる良い機会が設けられとても良い取り組みであると感じた

○最初はとても難しい話かなと身構えていたが、聞いていると理解することが出来てとても面白かった。また、最後の体験授業が SPARC 事業への理解を更に深めるきっかけになり、とても良かった。自分の将来を見つめる機会にもなり、とてもいい体験だった。ありがとうございました！

○これからを意識している事業だなと思いました。

私は宮崎大学地域資源創成学部を第一志望としているのですが、来年度からこの事業をスタートすると仰っていたので志望動機が更に増えました。

○授業をうけてみて、自分の分析をしてみても、今、自分にできることは積極的に取り組んでいきたいと思いました！ありがとうございました！

○今私は高校 3 年生で貴学の農学部を受験するのですが SPARC は令和 7 年度から全学位プログラムスタートとの事ですが私も授業を受けることはできますか??その年の 1 年生から受けることができるという事ですか??

【回答】農学部は令和 7 年度開始となりますが、受講可能な科目が教養教育にございます。

○今回のシンポジウムでは、これからの宮崎を担う人材に求められる要素や、資質能力それぞれの大学の今後の方針について知ることができました。また私は宮崎大学の地域資源創成学部で地域資源を活かしたまちづくりをしたいと考えており、私自身のキャリアについて考えるいい機会ともなりました。先生方と直接お話しできたのもよかったです。今回の講義を本格的に履修できるように頑張りたいです。ありがとうございました。

○地域活性化人材になるためのノウハウのようなものがよく分かりました。専門的な知識だけでなく幅広い分野の教養がこれからの時代には大切になってくるんだなということを学べたことが今回のシンポジウムで得た収穫です。宮崎大学に入学したい!!という気持ちが強くなる良い機会になりました。

○一つの大学では学ぶことの出来ない分野について他の大学と補うことで様々な分野について学ぶことが出来ることは良いと思いました。また、他の学部の人とディスカッションできることは様々な人との交流の場になり自分のは違う分野の視点から考えることが出来るので面白そうだと思います。